

漁船漁業の省エネルギー化に向けた「見える化」装置の開発と運用試験

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): 省エネルギー; 燃料油消費量: 「見える化」装置 キーワード (En): 作成者: 溝口, 弘泰, 長谷川, 勝男, 小田, 健一 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010566

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



漁船漁業の省エネルギー化に向けた「見える化」装置の開発と運用試験

溝口弘泰・長谷川勝男・小田健一

漁家経営に大きな影響を与える燃料油消費量を削減するためには、消費している燃料油量を把握することがまず重要である。そこで、船橋内で操船者がリアルタイムで燃料油消費量を「見る」ことのできる装置「見える化」装置を開発した。本装置では、燃料油消費量だけでなく、それと密接に関係する船速、主機関回転数、可変ピッチプロペラ翼角などの推進にかかる船内情報も1画面で表示することができる。本装置が省エネルギー化に向けた一助となりうるか検証するため、独立行政法人水産総合研究センター水産工学研究所所属調査船たか丸に搭載し、運用試験を行った。設置後操船者からは、「これまで船橋内で得られなかった燃料油消費量等の情報が、船橋内で確認することができることから、省エネルギー運航の参考となる。操船者が確認すべきデータ（主機関回転数、船速、ピッチ角度、燃料油消費量）が1画面で確認できることは好ましい」などの評価が得られた。

水産技術, 8 (1), 9-17, 2015